

目標達成計画

作成日: 令和 3年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 25 37 48	新型コロナウイルス感染防止のため、ホーム内での生活が中心となっている。家族との面会も減少し、ストレスを感じる入居者も増えている。今まで以上に、入居者が持っている力を発揮し、生活の「楽しみ」や「役割」を増やす機会を作っていきたい。また、日常生活で捉えた入居者の意向や要望を、できる限り実現させていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 人として、「生活者」としての尊厳が尊重される支援を行う。 各入居者の「できる力」「できること」を把握し、入居者が力を発揮できる活動や「役割」を増やす。 日常生活の中で、各入居者の意向や要望を汲み取り、実現させることで生活の「楽しみ」をさらに増やす。 入居者の思い、状況、支援方法や介助の程度などの共通認識を持ち、統一した支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 新アセスメント表を活用し、各入居者の「できること」に配慮した活動を工夫する。 意見交換ページ、意向・要望シートを活用し、職員間で情報を共有する。 24時間シートをさらに活用し、支援方法の統一につなげる。 介助の仕方、程度がわかるような家事・余暇活動の個別一覧表の見直し、作成を行う。 	12ヶ月
2	48 49	新型コロナウイルス感染防止のために、外出機会が減少した。日々、楽しく取り組めるような体操を提供するように努めているが、座って過ごす時間が以前よりも多くなった。下肢筋力が低下し、転倒しやすくなったり、疲れやすくなったりして、活動意欲の低下にもつながる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で楽しく身体を動かし、活動意欲を向上させることができる。 下肢筋力の低下を防ぎ、近所の散歩などの短時間の外出を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな体操や運動を入居者が選んで、楽しく行えるような工夫をする。 立って行う家事活動を用意する。 人混みを避けた近所の散歩など短時間外出を楽しめるように支援する。 体操個別一覧表の見直し、作成を行う。 体操の目的、効果的に行うポイントなどを職員が事前に学習をする。 	12ヶ月
3	40 48	新型コロナウイルス感染防止のため、ホーム内での生活が中心となっている。その中で、日常生活における楽しみの1つが、「食べること」である。ホーム内で定期的なスペシャルメニュー日設けるなど、「食」に視点を当てた取り組みを行い、生活の「楽しみ」を増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 食べることを通して、生活の楽しみ、喜びを感じ、活動意欲を向上させることができる。 家庭菜園での栽培を通して、様々な役割や楽しみをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 料理本や食料品カタログなどを活用し、食への楽しみを膨らませる。 意向、要望シートを活用し、献立作りに反映させる。 定期的に食事やおやつ等を選択できる日を計画する。 ベランダでの家庭菜園を活用する。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。